

”現代”に活かす！先達の礎（社会福祉史の市民講座）

## 子どもたちを学校へ通わせてやりたい ～水上生活世帯不就学児童と中村遙の実践～

今から約80年前の昭和初期、大阪には水上生活者約2万人、学齢期の児童約2千人、そのうち未就学児童が4割といわれていました。

中村遙は、昭和6（1931）年、港区天保町の安治川畔で民家を借りて、舩（※）などで生活する水上生活者の子どもたちを支援する、我が国最初の水上生活世帯児童のための施設「水上子供の家」（現、大阪水上隣保館）を立ち上げました。

活動に対する偏見や無理解で苦闘する一方、同志社大学での学び、宣教師ハーベ・シードや四貫島セツルメント館長・吉田源治郎をはじめとする多くの人たちとの出会いや支援に支えられます。本講座では中村遙の社会事業の実践を学びます。

※舩（はしけ）＝河川や港湾内で重い貨物を積んで航行する平底の船舶

◇日 時 平成26年11月8日（土） 午後2時～4時

◇講 師 （社福）大阪水上隣保館理事 / 大阪成蹊短期大学准教授

**阪野 学（大阪水上隣保館 元事務局長）**

- ◇会場 大阪市社会福祉研修・情報センター 会議室（4階）※裏面地図参照
- ◇受講料 無料
- ◇定員 50人（先着順）
- ◇対象者 大阪市内在住・在勤・在学者など
- ◇申込方法 裏面の申込書に記載しファックス（FAX 06-4392-8272）、または、ホームページの申込フォーム（<http://www.wel-osaka.jp/>）からお申し込みください
- ◇締切 11月5日（水）
- ◇受講決定 当日直接会場にお越しください。  
定員超過でご参加できない場合のみ、ご連絡いたします
- ◇問合せ先 大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当  
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20  
TEL (06) 4392-8201 FAX (06) 4392-8272

次回（第2回）のご案内

テーマ：『現代に息づく石井十次の思想から、今日の福祉課題に立ち向かう社会福祉実践を考える』（石井十次没後100年企画）

日時：平成26年12月6日（土）13：30～16：30（プレ企画10：30～）

登壇者：（社福）石井記念友愛社 理事長 児嶋草次郎（宮崎県木城町、石井十次の曾孫）

（社福）石井記念愛染園 理事 小谷啓二（大阪市浪速区、愛染橋保育園長）

日本福祉大学教授 永岡正己（大阪市地域福祉施設協議会会長）

※詳しくは、当センターホームページ等をご覧ください（10月以降掲載予定）

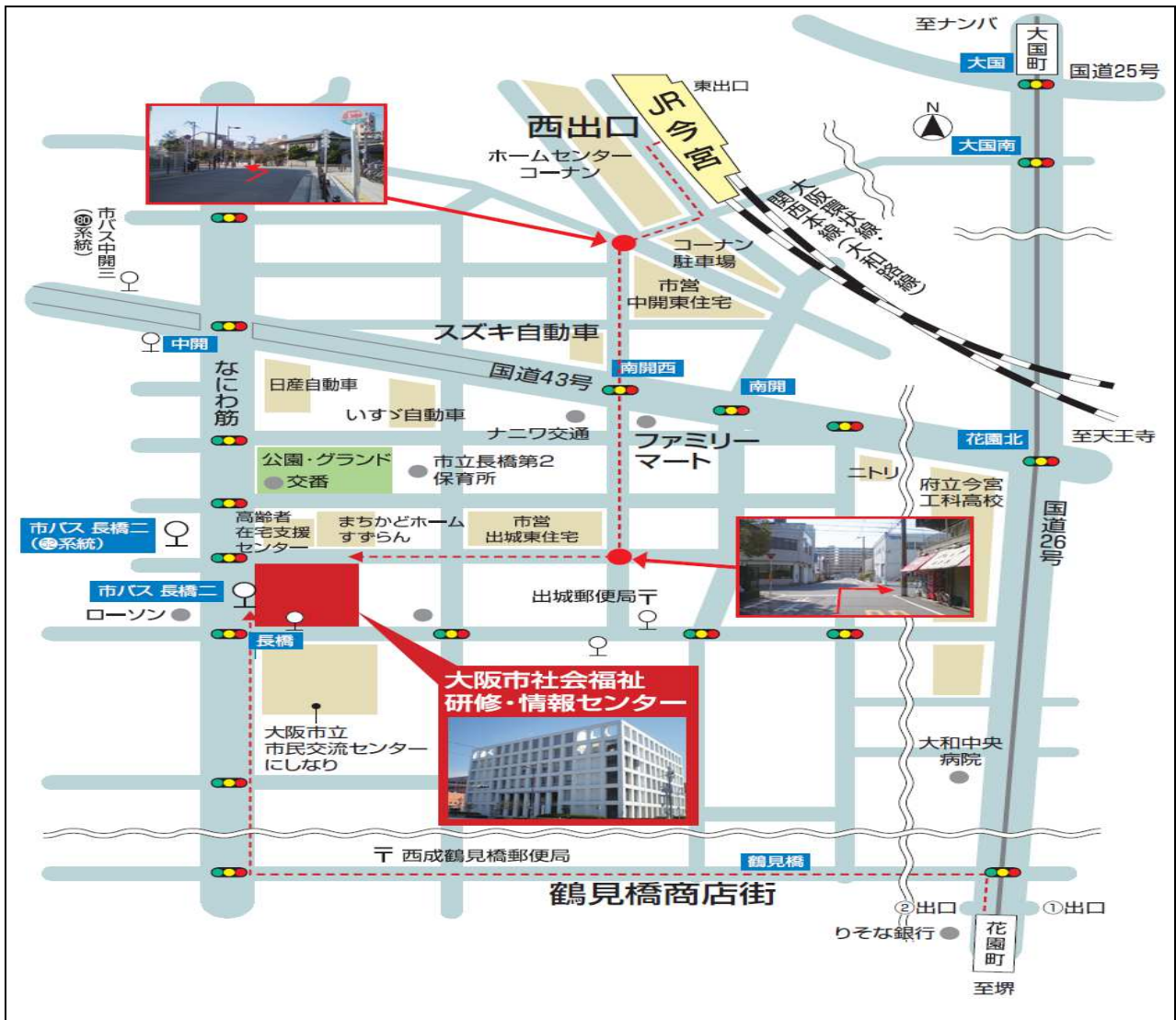
☆社会福祉史の市民講座第1回（11月8日）受講申込書☆

F A X 06-4392-8272

ふりがな			
名前			
住所	〒		
TEL		F A X	

◆提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません。

大阪市社会福祉研修・情報センター 会場地図



- JR環状線・大和路線「今宮」駅（西出口）から徒歩約9分
- 地下鉄四つ橋線「花園町」駅（1、2号出口）「大国町」駅（5号出口）から徒歩約15分
- 市バス「長橋二丁目」バス停すぐ〔52系統（なんば～あべの橋）〕